



小中  
学校

# 給食費無償化求め県知事に要望署名

取手など市民団体



給食費無償化求め県知事宛て要望署名を手渡す市民団体役員等

2月10日、「小中学校の給食費無償化を求める準備会」代表等は、署名1634筆を県知事宛てに提出。

物価高騰が家計を圧迫し保護者負担が増す中、全国的に給食費無償化が加速度的に広がっています。会代表は「どこに住んでいても格差なく誰もがおいしい給食を食べられるよう、県として無償化を実現してほしい」と要望。県担当者は、

「限られた予算の中で考えると難しい課題」と答弁。会は、「大井川知事が初出馬の際、給食費無償化を掲げていた、知事は初心にかえって是非実現に頑張してほしい」と訴えました。

江尻かな県議と佐野太一取手市議予定候補が同席しました。

会は、「今後も無償化実現の為の運動を発展させていきたい」と述べています。

## 学校給食無償化早期実施を

市民団体の大井川知事宛学校給食無償化を求める要望書提出に同行しました。学校給食費予算は教育予算から捻出されます。県は「教育予算のほとんどが人件費、それ以外は100万円使うのも厳しい現状」と回答。市町村格差を生ませない為には、早稲主導の対策が必要、早期に見直しを求めます。



佐野 太一  
(取手市議補欠選  
予定候補)

4月23日  
取手市長選

市民「みんなで取手市政を考える会」集会呼びかけ

## 「みんなで取手市政を考える会」

3月4日(土) 13:30

取手福祉交流センター多目的ホール

(取手市寺田5144-3)

市民、元市議、現職市議ら6人を発起人に、藤井政治継承でなく、市民の声が活かされる未来に希望持てる取手市政へ共同を広げます。発起人会は、集会へ広く市民の参加を呼び掛けています。

## 市長選へ 市民動く

どうするこの先の取手 取手市の未来をつくろう

みんなで取手市政を考える会を立ち上げます。○子育て・若者政策 農業  
取手の市民どなたでも参加いただけます。○循環型社会を目指す  
(食料・エネルギー・ケア)

○取手駅西口・桑原開発と取手の街づくり・・・

みんなで取手市政を考える会準備会

(問い合わせ先:090-8330-6464 池田 慈)

## 駅前商店は、共存共栄で再生を

駅前の現仮設交通広場(A街区)に計画される民間施行(権利者組合)の再開発事業は、「取手駅周辺の活性化を図る」として、取手市が、デベロッパーとともに計画を誘導してきました。

駅西口のリボンビル、アトレ(駅ビル)ともに空きフロアが目立つ中で、新たなビルへの商業施設導入での競合でなく、共存共栄の駅前再生を図るべきではないでしょうか。

## A街区開発 権利者主体に見直し、市は撤退を

市は無目的な公共施設導入でなく、市民ニーズに基づく必要な施設は、今ある建物の活用で民間と公共の共存を検討すべきです。

日本共産党は、駅前交通広場の速やかな整備完了・区画整理事業の早期終息をはかること。

A街区再開発事業

から撤退、権利者主体に計画見直しを求めています。



西口交通広場完成イメージ写真(取手市ホームページ)

## 駅前活性化の起爆剤? 再開発(マンション商業施設・公共施設)

交通広場整備工事その3(ペDESTリアンデッキ)議決

西取  
手駅  
開発

取手駅西口前交通広場の整備完成予定まで1年2カ月余。2月6日の臨時議会で、駅前交通広場整備工事その3についての請負契約529,903,000円(落札率98.6%)が議決されました。

## 巨額の税金投入するも 空洞化が進んだ30年

駅西口区画整理事業は度々計画見直しに追い込まれながら事業開始後30年を経過。西口前から多くの商業施設が余儀なく撤退、駅前には空洞化。巨額の税金を投入し、駅前を衰退させてきた歴代市長の責任が

問われます。中でも藤井市長は、市の最上位計画や数々の法令違反の疑惑がある中、関係者・市民の合意なきトップダウンの開発手法で事業の遅延と事業費膨張を招き、その責任は大きく問われます。

# 2023 日本共産党 大軍拡ストップ！平和と暮らし守り 新春のつどい 市長選・市議補選の勝利誓う

「武力行使せず戦争放棄」の憲法を力に軍拡止めよう

取手市党後援会を代表して松浦和子共同代表は、「平和を守ること、武力は行使せず。戦争を放棄する」「憲法9条を力に平和な未来を子どもたちに」と訴え。  
市民連合遠藤俊夫代表は、「新しい戦前」とのタモリさんの言葉から、「まさに今、戦争の足音が聞こえるような危険な状況、戦前、日本共産党の合法的な活動がなかった。今は、反戦平和の日本共産党がしっかり存在し活動している」皆で大軍拡を打ち破ろうと呼びかけました。



会場の参加者に軍拡止めよう、市長選・市議補選で勝利しようと呼びかける左から、小池・遠山・関戸各市議、佐野氏、伊藤参議員、松浦氏、遠藤氏、加増市議

2月11日取手市福祉会館において、2023年日本共産党新春のつどいが行われました。  
伊藤岳参院議員が講演、市民連合代表の連帯のあいさつ、立憲民主党衆院茨城3区梶岡博樹総支部長と細谷典男取手市議から、お祝いのメッセージが寄せられました。2部は、ギターの弾き語りや2人の演奏者のコラボで、楽しい音楽のひとときを楽しみました。

## “国保税引き下げに道開いた共産党”——メッセージ 市議補選で勝利を...

メッセージで細谷典男市議は、「国保税引き下げに道を開いたのは共産党」と、梶岡博樹氏は、「佐野太一さんの補選での活躍に期待する」と、敬意が寄せられました。

あいさつに立った佐野太一さんは、県議選での支援に謝意を述べ、「市民の声を市議会に届けたい4月の市議補選で必ず勝利を」と訴えました。

## 戦争準備より平和の為の外交努力

伊藤岳参院議員は、相次ぐ閣僚辞任の岸田首相自身の責任問題を糾弾。5年間で43兆円の軍事拡大で世界3位の軍事大国に、その財源を増税と社会保障削減で賄うというのが岸田政権。戦争準備の軍事拡大でなく、戦争しないための外交こそ必要、東南アジア諸国連合(ASEAN)と力を

合わせ、戦争の心配のないアジアをと力説。  
統一地方選で岸田政権に審判、佐野太一さんを市議会へと訴えました。  
議員団代表で挨拶した関戸市議は、市議補選での佐野太一さん勝利と、市長選での広範な市民の共同を呼び掛けました。

## 「今、なぜ大軍拡なのか？」 学習集会開かれる



「軍拡の本当の真実」に聞き入る参加者 取手福祉会館 10日

戦争させない9条壊すな！ 総がかり取手行動実行委員会主催の学習集会が、11日、取手福祉会館で悪天候の中50名を超える参加者で開かれました。  
講師は、自衛隊南スーダン派遣部隊が作成した日報について、2016年9月自衛隊日報問題表面化のきっかけをつくったジャーナリスト布施祐仁さん。  
講義ではロシアのウクライナ侵略後の新展開を分析。

日本が米国と一体に中国との軍事的緊張を高めるのか、それとも平和憲法を活かし、東南アジア諸国連合と力を合わせ、外交で米中戦争予防の方向に進むのか。それによって日本とアジア・世界の未来は大きく変わる。とし、岸田政権の軍備拡張の暴走政治を批判。外交にこそ戦争予防で平和を実現する力があることを訴えていこうと呼びかけました。

## 平和と医療に関する署名にご協力下さい。

- ◇平和、いのち、くらしを壊す  
大軍拡、大増税に反対する請願署名 (国会宛て)
  - ・平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押し付ける大軍拡、大増税はやめて下さい。
  - ・大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改定を撤回してください。
- ◇国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の引き下げ等を求める署名 (取手市長宛て)
  - ・国民健康保険税引き下げ (均等割り廃止、税率の引き下げ)
  - ・後期高齢者の医療負担軽減 (保険料引き下げ・窓口2割負担中止を求めこと)
  - ・貯め過ぎた国保基金から後期高齢者 (元国保加入者) への還元策を検討・実施すること



取手駅前前で軍拡・増税ストップを訴え署名を呼び掛ける加増・小池市議と党後援会員ら

戸頭で大軍拡NO！4月の市議補選での支援を訴える佐野氏と関戸市議ら